

# エコプロダクツ2024見学レポート

次世代のために地球環境を考え、エコな暮らしやSDGsへの取り組みを発信する「エコプロダクツ」(12月4日~6日・東京ビッグサイト 主催：日本経済新聞社等)。子どもや学生、企業、自治体、研究者など、すべての人が楽しく学べるイベントです。鎌倉リサイクル推進会議では、広い視野で環境を学ぶために毎年見学に訪れています。今回は独自の視点でそこから見えてきたものをピックアップしてご紹介。



会場の東京ビッグサイトはたくさんの人でにぎわっていました



生分解性テーパーバッグが分解される様子

ペットボトルや缶、ピンのリサイクルは、すでに浸透しているため目新しいものは少なかった印象。プラスチックごみの課題は現在進行形。自然に還る生分解性プラスチックについての研究は実用に向けて様々な研究開発が進んでいます。実用化までには技術的な問題やコストなど難題も多く時間がかかりそう。

注目を集めていたのは、やはり防災関連部門。環境を考えた災害時のトイレや防寒シート、消火剤など興味をひくものが多数ありました。



簡易トイレ

ホタテの貝殻を利用し、3Dプリンターで作るスマホケース



防寒シート



持続可能な社会のために、ごみ資源から電力、食品廃棄物や木質発電、CO2の資源化などを研究開発している企業には興味をそそられました。

鎌倉市でも里山保全是大きな課題。竹チップ作成や間伐材の利用など、市内で保全活動をしている団体へのヒントがあるかも。



木の実などを使ったワークショップで私たちも作品作り。ゲームやクイズで子どもたちも楽しめる企画がたくさんありました。



# 夏の学習会

夏休みに小学生向けに学習会を開催しました。まずタブレットを使ったごみ分別ゲームに挑戦(\*1)。大人でもなかなか難しい問題でした。このゲームを開発した東京大学の研究室の先生が小笠原在住ということもあり、小笠原の環境の話もしていただきました(\*2)。小笠原でも海に流れ出るプラスチックごみの影響で生物が生存の危機にさらされている現状を聞きました。続いて市役所担当者による鎌倉市のごみの話をうかがい(\*3)、私たちのできることを考え、みんなで卵の紙パックを使った亀を作ってみました(\*4)。ごみ資源化アイデア募集「鎌倉サーキュラーアワード」の説明もあり(\*5)、盛りだくさんの一日でした。



\*1 ごみ分別ゲームに真剣に取り組む



\*4 卵の紙パックの亀



\*2 小笠原の話に興味津々



\*3 市役所のユニフォームはペットボトルから作られている

## \*5 ごみ減量・資源化コンテスト「鎌倉サーキュラーアワード」

「第1回鎌倉サーキュラーアワード」とは、ごみの減量、資源化を目的にアイデアを広く市民・事業者・起業家から募集する試み。鎌倉市、慶應義塾大学、(株)カヤックなどが企画。「市民部門」、「事業者部門」、「スタートアップ部門」で募集しました。ティッシュペーパーなどの代わりに古い布類を使用するアイデア(市民部門金賞)など。各賞のほかマシンガンズ滝沢特別賞なども設けられました。



## 展示コーナーリニューアル

当館2階にあった環境関連の展示物は、鎌倉リサイクルセンター1階ロビーに移動してリニューアルしました。資源ごみの行方、海洋プラスチックの様子などがよくわかります。お気軽にお立ち寄りください。(開館：平日10時~16時)



## 2025年3月23日(日)

**鎌倉リサイクルマーケット古着市**  
2025年3月23日(日) 雨天でも開催  
10時~13時 鎌倉リサイクルセンター  
1キロ200円でお分けします マイバッグ持参で!  
【古着寄付受付】  
2月17日(月)~3月14日(金)  
10時~16時(平日)  
\*寄付は鎌倉市民限定  
\*古着は洗濯を済ませボタンはつけたまま  
\*婦人・紳士・子どもに分けて透明な袋に入れる  
\*布団・マット類・ビニール製品・靴・バッグなどは不可  
【同時開催】  
着物市、東北支援物産  
・焼き菓子・コーヒー豆  
弁当販売など

